

土佐清水市経済団体連絡協議会からの要望（水産振興部関係）の概要

- 1 日 時 平成 24 年 11 月 12 日（月） 15：00～15：15
- 2 場 所 第 2 応接室
- 3 出席者 土佐清水市経団連：廣田勝会長、和田郁生副会長、横山浩一県議会議員ほか
高知県：東好男水産振興部長ほか
- 4 要望と回答（意見交換）の概要

【要望】

○水産振興の促進について

- ・漁獲向上のための魚礁設置など、漁場の整備強化を図ること
- ・放流事業をより一層拡大強化すること
- ・窪津漁業協同組合の旧市場の解体と整備に特段の配慮と支援を行うこと

【回答】

○漁場の整備強化

- ・近場に漁場があることは重要と認識しているが、県が実施する大型の沈設型魚礁については事業効果が把握できていなかったことから設置を休止している。
- ・黒潮町佐賀では魚礁の効果把握に取り組んでおり、他の地区でも効果の把握に取り組んでいただけたらと思う。土佐清水市でも効果を把握してから整備することが大事なので、効果把握への協力をお願いしたい。
- ・市町村が実施する小規模の沈設型魚礁については、信頼性の高いデータにより費用対効果の把握ができ、 $B/C \geq 1$ であることという条件下で、国の補助金を活用して整備することが可能。

○放流事業の拡大強化

- ・ヒラメとエビ類の種苗については、「第 6 次高知県栽培漁業基本計画」に基づき指定管理者が生産し、イサキ、カサゴ、ノコギリガザミについては民間企業が生産したものを要望のあった市町村に配布している。今後も要望に基づき栽培漁業の推進に取り組む。
- ・平成 21 年度から回収率が高い大型種苗の放流に取り組んでおり、ヒラメでは大型種苗の割合が約 90%を占めるなど、要望にこたえているところ。

○窪津漁協の旧市場解体と整備

- ・大きな自己負担を伴うことから、実施についてはご議論をお願いする。県も必要な知恵だしをしていきたい。